

**委員会だより**

< 10月6日(日) 12名出席 >

- 1. 8月度・9月度財務報告
  - ◆一般会計:「区民クリスマス」拠出金として30,000円を支出
  - ◆卓球大会費精算 45,343円
- 2. 一粒会関係
  - ◆9月23日(月・祝)開催の大会には9名の参加があった。
  - ◆第五地区祈りのリレーは、10月は中和田教会が担当。10月の各主日の共同祈願で祈る。
  - ◆第五地区独自の「一粒会だより」が発行される。最初は10月末に発行予定。
- 3. 七五三のお祝い
  - ◆11月10日(日)に行なう。該当者は掲示の申込書に記入する。
- 4. 湘南短期キリスト教セミナー
  - ◆チラシを設置。チケットは、小野寺委員または内藤委員まで。
- 5. バザー準備状況報告
  - ◆バザー券、食券の売れ行きがいまいち。
  - ◆子どもが楽しめる企画として、わたあめ、ポップコーン、ヨーヨーなどについて検討をしてみたい。
  - ◆バザー券の景品として、37,000円相当の金券の寄付があった。
- 6. その他
  - ◆壮年会遠足が11月9日(土) 洋光台～鎌倉方面で計画されています。
  - ◆壮年会、婦人会の運営とあり方についての検討が必要な時期にきているのではないかという話が出た。

**壮年会だより**

< 10月20日(日) 8名出席 >

- ◆委員会報告(10月度)(内容は教会報を参照)
  - ◆8,9月度財務報告
  - ◆一粒会報告
  - ◆七五三について
  - ◆湘南短期キリスト教関連セミナー関連報告
  - ◆第5地区福音宣教委員会
  - ◆バザー準備状況
  - ◆典礼関連
  - ◆その他
- ◆議案
  - ◆11月の聖書朗読
    - 11/3 山本さん
    - 11/24 美底さん
  - ◆バザーについて

準備 10/26(土)10:00～(連絡網で知らせる)  
 責任者と手伝い依頼  
 焼き鳥 橋さん、小野さん、上野さん  
 焼きそば 下村さん、山本(仁)さん  
 焼イカ 宮崎さん、森脇さん  
 ヨーヨー、輪投げ 井上さん  
 (輪投げの道具づくり 七浦さん)

- ◆泉区民クリスマスについて  
 当日のお手伝い: 竹内、七浦、山田、福島各氏
  - ◆ハイキングについて  
 11月9日(土) 円海山 (洋光台～北鎌倉)
  - ◆その他
    - ◆湘南短期キリスト教関連セミナーの手伝い 案内係 七浦、竹内(11/23)
    - ◆神父様の健康状況について話し合いがされた。
- 次回壮年会 11月17日

**婦人会だより**

< 10月20日(日) 27名出席 >

- ◆委員会報告(委員会だより参照)
  - ◆婦人会関連事項
    - ①バザーについて  
 バザー前日(10/26)のお手伝いの時間の変更。  
 前号で午前10時からとしましたが、4時のごミサにあずかりやすいように午後1時～4時といたします。
    - ②お知らせ
      1. 11月は死者の月です。  
 11月1日(初金)は中和田教会物故者のためのミサがあります。ご都合のつく方はご参列ください。
      2. 個別に「死者のためのミサ」を希望される方は、掲示の表にご記入のうえ、謝礼は、封筒に氏名、日時、意向を書いて、献金箱に入れてください。
      3. 10月13日に帰天された花坂一様への霊的花束は、棺に納めさせていただきます。
      4. 区民クリスマス(12/23)の件  
 当日の受付係のお手伝いに当教会から2名必要です。(申し出者: 阿部映子さん)
      5. 横浜婦人同志会からご案内(申込みは阿部映子さんへ)
        - ◆黙想会  
 会場: 茅ヶ崎教会  
 日時: 10月31日(木)11時～15時30分  
 指導司祭: 細井神父様
        - ◆歌舞伎鑑賞会  
 12月12日(木)12時開演 国立劇場にて。  
 (高齢司祭への寄付となりますので、ご協力下さい)
- 次回例会は、11月17日(日) 当番はB地区です。

**ミサ当番表 (2002年11、12月)**

月/日	主日	朗読、奉納	侍者	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	侍者	オルガン
11/3	年間第31主日	壮年会		美底	12/8	待降雪第2主日	青年会	石崎	岩淵
11/10	年間第32主日	青年会	下迫(瑤)	岩淵	12/15	待降雪第3主日	婦人会C地区	下迫(瑤)	森田
11/17	年間第33主日	婦人会B地区	下迫	森田	12/22	待降雪第4主日	壮年会	下迫	美底
11/24	王であるキリスト	壮年会	石井(大)	美底	12/24	主の降誕(深夜)	壮年会	石井(大)	岩淵
12/1	待降雪第1主日	壮年会	石井(拓)	岩淵	12/29	聖家族	婦人会C地区	石井(拓)	森田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel 802-6258)迄お申し出下さい。

# 広報 なかわだ

## 第284号

2002年 **11月号**

12月の予定

委員会	12月 1日
壮年会、婦人会	12月 15日
大掃除	12月 21日
主の降誕深夜ミサ	12月 24日
サロン	12月 8, 22日
レジオ	12月 13, 20日

中和田カトリック教会  
 広報委員会発行  
 泉区中田北1丁目9-1  
 Tel. (045) 803-6141  
 平成14年12月7日



**<私の終日のコトバ>**

山崎 正俊



この頃、急に「引き算」がむつかしくなりました。昨日約束したことを忘れてしまい、話が通じなくなってしまいました。まとまった「お話し」をしようとしても、我ながら、スジが通らなくなってしまうのです。こうして月報を書き始めても、何を始めようとしたのかと困ってしまうのです。すこし前までは、書き始めると、一応はきちんと終わりまでまとまったのに、不思議な混乱に落ち込んでしまうのです。

これでは、どうにもなりません。モウロクしたな、と感じはじめるのです。これでも、きちんと書き綴っているような気がしてはいるのです。何年か前に、志賀直哉先生の「ズイヒツ」が、どこかおかしいと思ったことがあったのですが、それから、このお方の作品が見られなくなって、「さすがのこの先生も、頭がだめになられたようだ」「長生きはしたいものだが、これもよしワルシだな。自分で、それは認めたくないものだな」と気がついたものですが、この頃、私もその年齢になってしまったらしい。ハズカシイ、おさながえりが始まったようだ、と感じはじめたようだ。

月報も、これで、「私のものは、段々でご引退させていただかねばならないナ」と反省しています。85歳ぐらいでこうなるとは、どうかしている。それで、忘れないうちに、「インキョ宣言」をさせていただきますでしょうか。「さようなら」「さようなら」「さようなら」。

(2002. 10. 吉日)



## 「ギリシャの旅」(神殿とギリシャ正教)

下村 毅・昭子

02年4月の「ギリシャ観光ツアー」の最初は【コリント運河】で、1893年人力で造られた長さ6.3kmの運河を、水面より50mの「吸い込まれるような細い人道橋」から、恐る恐る見下ろすと、切り立つ白い岩肌・コバルト色の水面・青い空の中、調度白い舟が白波を立てやって来た「観光写真のような素晴らしさ」だった。

パウロが2年住んだ【コリント遺跡】訪問は今回含まれていないが、ガイドの指差す先は、石灰岩がごろごろしている山であった。この景色は、ガリラヤ湖を見下ろした「山上の垂訓場所に似ているようだ」と勝手に思い浮かべて見た。

その他の遺跡巡りを紹介しましょう。《BC4世紀》建造の【エピダウロス遺跡円形劇場】は、今も音楽コンサートが開かれている現役で、大理石観覧席が55段あり14000人が収容出来る大きな青空劇場で有る。音響実験では円形舞台の真中で「紙を破り・小枝を折った小さな生音」が、観覧席最上段で人間の耳(自分の耳)で十分確認出来た。《素晴らしい世界遺産に賞賛》。

04年アテネオリンピック予定関連の【オリンピア遺跡】は、《BC7世紀》(最も古い神殿)『神ゼウスの妻ヘラ神殿』はオリンピックの都度、巫女によって聖火が採火される(テレビで紹介がある)。現在では円柱のみが残る。(遺跡残骸として転がっている石は、直系2m高さ3m程の物で中心部穴に木材を通し繋がれ、柱と成っている。)

第一回オリンピックが行なわれたスタジアムは、自然の地形を利用した観客席に4万人が入れると言う。1スタジアム=192mで、今でも石のスタート・ゴール点ある(1スタジアム競技が、現在花形である100mのルーツであろう)。右側観覧席の石は皇帝などが座った椅子席だと思われ、左側には審判台石が有り、ここだけが女性(巫女)が座れる席だった。オリンピックは神事で、4年に一度欠かさず開催されたと言われています。(ただし、記念碑の1944Tokyouの文字が消されているのが印象的です)

次にギリシャ正教の聖地【メテオラ地区】を紹介しましょう。象肌のような岩肌が切り立った山々の頂上に6ヶ所の修道院がある。海拔600m・街から420mの垂直壁頂上に【メガロ・メテオロン修道院】がある。古城のような門を潜り、隣山の『ヴァルラーム修道院』を見下ろしながら147段の急な石階段を登った。女性は入口で《スカート穿き》が義務付けられている(ズボンを穿いていても)。現在も修士6名が自給自足し《祈り・働き・研究と休みの生活》の修行をしています。聖堂は14世紀に長さ4mの物が新設され、16世紀に長さ20mに建増しされた。機材運搬には垂直の岩壁に横穴を空け梯子やロープを使い、全て人力で



メテラオ メガロ・メテオロン修道院よりヴァルラーム修道院を臨む



アテネ市内カトリック大聖堂

「若い修道女」・時を伝える「鐘」を力強く打つ修道女と、三人の姿に会えた。中庭は花が咲き井戸が中央にあり、カランバカの街が一望出来る素晴らしい所だった。

アテネ市街地では、必ず観光案内にある、『アクロポリスの丘』に17本の円柱が現存する《BC432建設》【バルテノン神殿】に登る。神殿からアテネの街が一望でき「皇帝の気分だ」。その【アテネ中心地】では、神殿造りで再現された『裁判所』『図書館』『大学』の並びに『カトリック大聖堂』が有る。聖堂の正面には、十字架像(ハッキリしたイエス)があり「何かホット」した。

世俗的観光をもう一つ紹介しましょう。10時間で廻る【エーゲ海ミニクルーズ】は『エルミス号』に乗りでエギナ・ポロス・イドラ3島を巡るコースでした。

エギナ島山頂の『アフエア神殿』《BC490》は、バルテノン神殿の約1/2だが、石灰石32本の柱で造られ、歴史的に価値有る物(内24本現存する世界遺産)です。下船した三島はエメラルドグリーンのエーゲ海に囲まれ、港には白いヨットが繋がれ、島内は、反り出した石灰石の急斜面に、白壁と屋根瓦の橙色に統一された家がびっしり連なり、青空とのコントラストが素晴らしい。山頂には『白い時計台(灯台)』や『古い小さな教会(ギリシャ正教)』がある。「何時までも眺めていたい」景色だった。

こんな思い出を残し帰国の途に着いた。



パルテノン神殿 アクロポリス(国家)の丘 現在は2004年アテネ・オリンピックのため修理中